

# CL3000

## 日本語版ユーザーマニュアル



### 本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CL3000 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く改変されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2014 年 10 月 9 日

## ユーザーの皆様へ

---

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

# ATEN ジャパン製品保証規定

---

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

## 【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

### (1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

### (2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

### (3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

### 【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

### 【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

## 【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

## 製品についてのお問い合わせ

---

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

# 目次

---

ユーザーの皆様へ .....	i
ATEN ジャパン製品保証規定 .....	ii
製品についてのお問い合わせ .....	v
FCC・CE 情報.....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006 .....	4
安全にお使い頂くために.....	5
全般 .....	5
ラックマウント .....	7
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
<b>第1章 はじめに.....</b>	<b>11</b>
概要.....	11
LED バックライト LCD の利点 .....	11
特長.....	12
システム要件.....	13
LED バックライト LCD コンソール.....	13
セカンドコンソール.....	13
ケーブル .....	13
OS.....	14
製品各部名称 .....	15
フロントパネル .....	15
リアパネル.....	17
<b>第2章 セットアップ方法.....</b>	<b>18</b>
セットアップの前に.....	18
標準ラックマウント.....	18
イージーセットアップラックマウントキット .....	20
セットアップ .....	24
<b>第3章 基本操作.....</b>	<b>26</b>
コンソールを開く .....	26

コンソールを閉じる.....	27
操作上の注意事項.....	28
LED バックライト LCD OSD 設定.....	29
LED バックライト LCD ボタン.....	29
調整設定.....	30
ホットプラグ.....	31
シャットダウンと再起動.....	31
ポート ID の割り当て、およびポートの選択.....	31
ホットキー.....	32
<b>第 4 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ.....</b>	<b>33</b>
はじめに.....	33
作業を始める前に.....	33
ファームウェアアップグレードモード.....	34
アップグレードの開始.....	35
アップグレードの成功.....	37
アップグレードの失敗.....	37
ファームウェアアップグレードリカバリー.....	38
ファームウェアアップグレードモードの終了.....	38
<b>付録.....</b>	<b>39</b>
製品仕様.....	39
Mac キーボードエミュレーション.....	42
Sun キーボードエミュレーション.....	43
トラブルシューティング.....	44
SPHD コネクタについて.....	44

## FCC・CE 情報

---

### FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

## RoHS

---

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

# SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



## 安全にお使い頂くために

---

### 全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 製品付属の電源ケーブルは安全のために 3 ピンタイプのプラグを使用しています。電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者にお問い合わせで適切に処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがあります

ので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。

- ◆ 装置をご自身で修理せず、何かありましたらご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
  - 電源コードが破損した。
  - 装置の上に液体をこぼした。
  - 装置が雨や水にぬれた。
  - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
  - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
  - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

## ラックマウント

- ◆ ラックでの作業を始める前に、スタビライザーがラックに固定され床に接していること、また、ラック全体が安定した場所に置かれていることを確認してください。作業する前に、シングルラックにフロントとサイドのスタビライザーを取り付けるか、結合された複数のラックにフロントスタビライザーを取り付けてください。
- ◆ ラックには下から上に向かって、一番重いアイテムから順番に取り付けてください。
- ◆ デバイスを拡張する前にラックが水平で安定していることを確認してください。
- ◆ デバイスレールのリリース用ラッチを押しながらデバイスをスライドさせてラックに出し入れする際にはスライドレールに指を挟まないようご注意ください。
- ◆ デバイスがラックに挿入されたら、慎重にレールをロックする位置までスライドしてください。
- ◆ ラックに供給する AC 電源の分岐回路が過剰供給にならないようご注意ください。ラック全体の電源負荷は分岐回路の 80%を越えないように設定する必要があります。
- ◆ ラックにマウントされたデバイスは、電源タップも含め、すべて正しく接地されていることを確認してください。
- ◆ ラックへの通気を十分に確保してください。
- ◆ 本製品で定められている保管温度を超えないように、ラックが設置されている場所の室温を調節してください。
- ◆ ラックに設置されているデバイスが動作している際に、デバイスを踏んだりデバイスによじ登ったりしないでください。
- ◆ **注意:**ラックにマウントされた LCD KVM ドロワーを柵や作業スペースとして使用しないでください。



## 同梱品

---

CL3000 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CL3000 19 インチ LCD 一体型軽量型 KVM コンソールドロワー  
(標準ラックマウントキット取付済み) ×1
- ◆ KVM ケーブル(2L-5302UP) ×1
- ◆ 電源コード ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1
- ◆ イージーセットアップラックマウントキット(ショート or ロング) ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

## 本マニュアルについて

---

このユーザーマニュアルは、CL3000 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

**第1章 はじめに:**CL3000 を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。

**第2章 セットアップ:**CL3000 のセットアップについて説明します。

**第3章 基本操作:**CL3000 の機能概要および操作方法について説明します。

**第4章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:**お使いの CL3000 のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。

**付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

## マニュアル表記について

---

[   ]

入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

# 第1章 はじめに

## 概要

---

CL3000 は、互換性をもつ KVM スイッチのためのフロントエンドコンソールとして役立つ LCD 一体型 KVM(キーボード、モニターおよびマウス)コンソールドロワーです。

CL3000 は軽量型で、19 インチ省電力型 LED バックライトの LCD モニターを搭載しています。キーボード、LED バックライト LCD モニターおよびタッチパッドが 1U サイズのハウジングに一体化されているので、CL3000 を使用すると省スペース化や合理化を進めることができます。セカンドコンソールポートが搭載されているので、もう一人のユーザーがローカルアクセスすることができます。ATEN IP-KVM スイッチまたは IP アクセスユニットと組み合わせると、世界のどこにいてもコンピューターをリモートから操作できるようになります。

CL3000 を導入するより時間とコストを節約するいい方法はありません。軽量型で、省エネの LED バックライト LCD モニターを搭載した CL3000 を導入すると、(1) 各コンピューターにそれぞれキーボード、モニターおよびマウスを購入するコストが省ける。(2) これらの設備を置くスペースが節約できる。(3) 電気代が節約できる。(4) 各コンピューター間を移動する不便さや手間が省ける。という利点があります。

## LED バックライト LCD の利点

LED バックライト LCD は、従来の LCD で使用されていた CCFL(冷陰極蛍光管)に取って代わるディスプレイの次世代技術「LED バックライト方式」が使用されています。これはディスプレイの明るさが増え、コントラストレベルも高くなると同時に、消費電力を抑え、色のダイナミックレンジが広がり、熱消散が良い、という利点があります。LED バックライト LCD の長寿命とより高い安定性を考慮すると、これが商業広告やスポーツ競技場から進歩したコンピューターディスプレイやハイエンドテレビといった様々な分野でますます使用されていくディスプレイであるのは当然です。

## 特長

---

- ◆ 19 インチ LED バックライト LCD 一体型 KVM コンソールドロワー
- ◆ 環境に配慮した LED バックライトモニターで省エネを実現
- ◆ セットアップが簡単な軽量設計
- ◆ 米国国防総省の軍用規格 MIL-STD-810G 準拠
- ◆ デュアルインターフェース対応 - サーバーのキーボード・マウスは PS/2 と USB の両方に対応
- ◆ フロントパネルには USB マウスポートを搭載 - ホットプラグ対応。USB ハブポートとしても使用可能
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows、Linux、Mac、Sun
- ◆ 解像度 - 最大 1,280×1,024@75Hz、DDC2B 準拠
- ◆ ファームウェアアップグレード対応
- ◆ セカンドコンソールポート搭載 - 外付コンソール(モニター、USB または PS/2 キーボード・マウス)からコンピューターの管理が可能
- ◆ コンソールロック機能 - 未使用時にはコンソールドロワーを内側にロック可能
- ◆ハウジングの高さが 1U より若干低いので、1U ラックでの操作がスムーズ
- ◆ DDC エミュレーション対応 - 各コンピューターのビデオ設定は、モニターに最適な出力になるように自動調整
- ◆ 取り付け奥行きが調節可能で、マウント作業が容易なレールキットを同梱(ロング/ショート選択)
- ◆ JIS 準拠 105 キーボード搭載
- ◆ 対応キーボード言語 - 英語(US)、英語(UK)、ドイツ語、ドイツ語(スイス)、フランス語、スペイン語、繁体中国語、日本語、韓国語、スウェーデン語、イタリア語、ロシア語、ハンガリー語、ギリシャ語

## システム要件

### LED バックライト LCD コンソール

- ◆ LED バックライト LCD コンソールドローはほとんどの KVM スイッチに対応しています。ご使用の KVM スイッチが対応しているかどうかご不明な場合は、販売店までお問い合わせください。
- ◆ LED バックライト LCD モニターの最大解像度は 1,280×1,024@75Hz です。接続されたコンピューター全ての解像度がこの LED バックライト LCD モニターの最大解像度を超えないように設定してください。

### セカンドコンソール

- ◆ 接続されたコンピューター全ての最大解像度が表示できる VGA、SVGA またはマルチシンク対応モニター
- ◆ USB または PS/2 キーボードおよびマウス

### ケーブル

最適な信号の整合性やレイアウトの単純化のためにも、下表に記載された様々な長さの高品質専用ケーブルを販売店からご購入されることを推奨いたします。

ケーブル長 (m)	型番		
	PS/2 タイプ	USB タイプ	PS/2・USB タイプ
1.2	2L-5201P	2L-5201U	2L-5301UP
1.8	2L-5202P 2L-5702P(スリムタイプ)	2L-5202U	2L-5302UP
3.0	2L-5203P	2L-5203U	2L-5303UP
5.0	-	2L-5205U	-
6.0	2L-5206P	-	-
10.0	2L-5210P	-	-

## OS

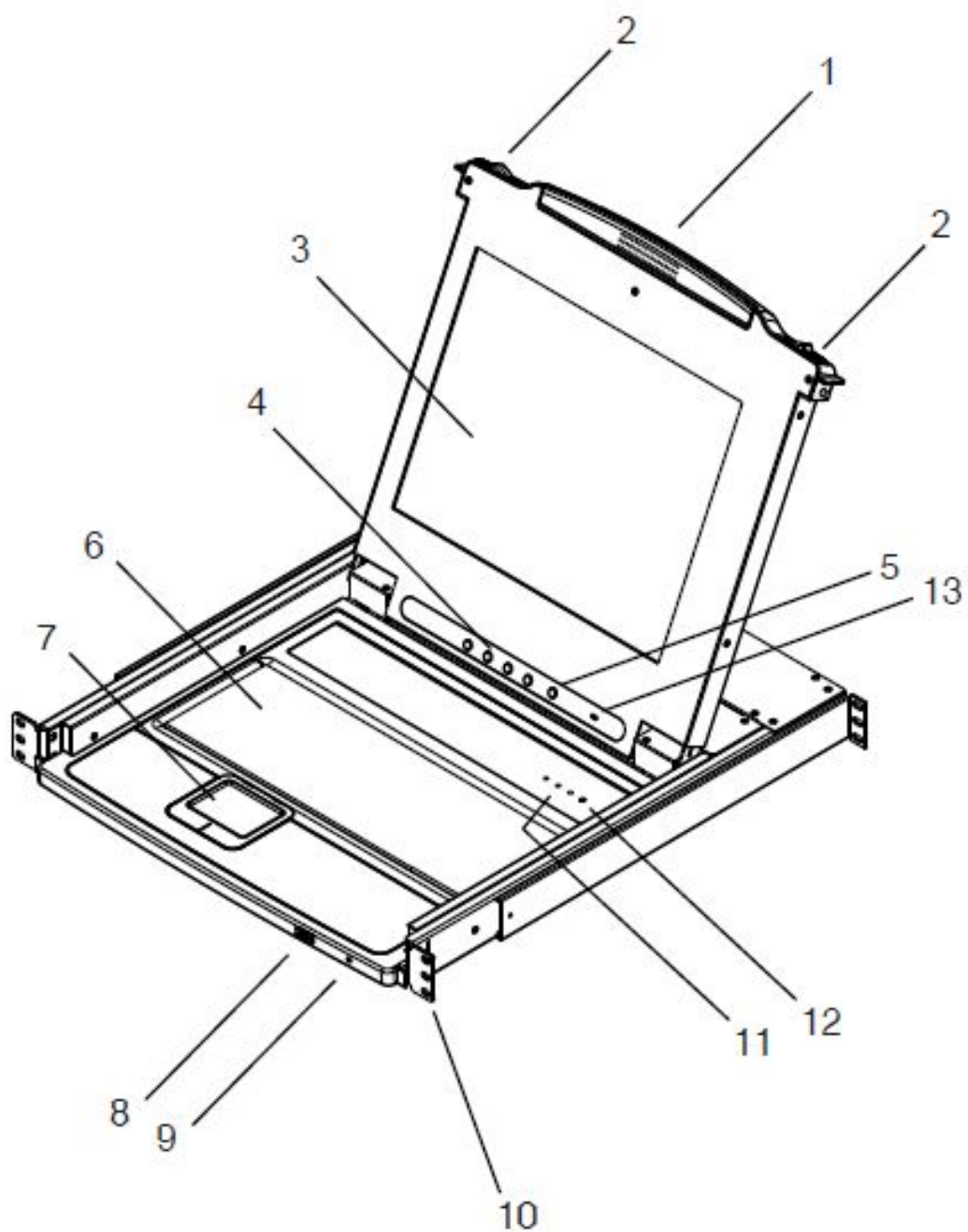
本製品の対応 OS は下表の通りです。

OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	RedHat	9.0 以降
	SuSE	10 以降
	Debian	3.1、4.0
	Ubuntu	7.04、7.10
UNIX	IBM	AIX 4.3、5L
	FreeBSD	4.2 以降
	Sun	Solaris 8 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Mac		OS 9 以降
DOS		6.22

## 製品各部名称

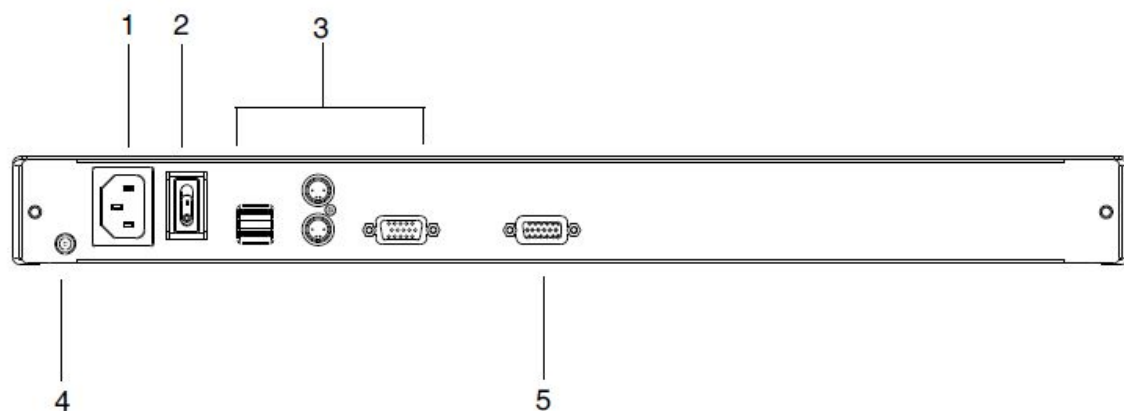
---

### フロントパネル



No.	名称	説明
1	上部ハンドル	LCD モジュールを引き出す、または中へ収納する際に使用します。コンソールの出し入れについての詳細は p.26「コンソールを開く」を参照してください。
2	モジュールリリースキャッチ	コンソールを引き出すには、この留め金を中へスライドさせて、外さなければなりません。
3	LED バックライト LCD モジュール	p.17「リアパネル」を参照してください。
4	LED バックライト LCD コントロール	ここに LED ディスプレイの画像の位置や画質を設定するボタンがあります。詳細は p.29 を参照してください。
5	LED バックライト LCD On/Off ボタン	このボタンを押すと、LED バックライト LCD の On/Off ができます。LED バックライト LCD が Off の時にはこのボタンが点灯します。 <b>注意:</b> このライトはモニターのみが Off であることを示し、接続された KVM スイッチの状態を表しているではありません。
6	キーボードモジュール	JIS 準拠 105 キーボードです。
7	タッチパッド	標準マウスタッチパッドです。
8	USB ポート	この USB ポートには、コンソールに USB 周辺機器 (フラッシュドライブ、CD-ROM ドライブなど) を接続したり、または外付マウスを使用したいユーザー用の USB マウスを接続したりすることができます。
9	電源 LED	本製品に電源が入っている場合に点灯 (ブルー) します。
10	ラックマウントタブ	本製品の各角にはラックマウントタブがあります。詳細は p.18 「標準ラックマウント」を参照してください。
11	Lock LED	[Num Lock]、[Caps Lock]、[Scroll Lock] の LED ランプがここにあります。
12	リセットスイッチ	Lock LED の右側に位置しています。先の細い物でこのピンホール型スイッチを押すとシステムのリセットを実行します。
13	ファームウェアアップグレードスイッチ	通常操作時、およびファームウェアアップグレード実行時には、このスイッチを「NORMAL」の位置に合わせてください。ファームウェアアップグレード操作が失敗した場合に、このスイッチを使用してファームウェアアップグレードリカバリーを行います。詳細は、p.38「ファームウェアアップグレードリカバリー」を参照してください。

## リアパネル



No.	名称	説明
1	電源ソケット	これは標準的な 3 極 AC 電源ソケットです。AC 電源からの電源コードをここに接続します。
2	電源スイッチ	これは標準的なロッカースイッチで本製品の電源を入れたり切ったりします。
3	セカンドコンソール セクション	このセクションにあるポートに外部 KVM コンソールケーブルを接続します。このセクションには USB または PS/2 キーボード・マウスおよび VGA モニターから構成されています。
4	接地ターミナル	本製品を接地するための接地線をここに接続します。
5	KVM ポートセクション	CL3000 と KVM スイッチとを接続するためのケーブルをここに接続します。 <b>注意:</b> この SPHD コネクターはこのスイッチと動作するようにデザインされた KVM ケーブルだけがここに接続されるように特別に修正されたものです (詳細は、p.13「ケーブル」参照)。

## 第2章 セットアップ方法

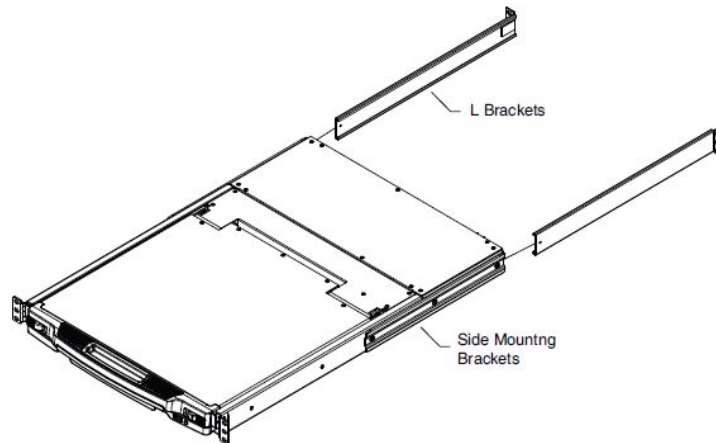
### セットアップの前に



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.5 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。

### 標準ラックマウント

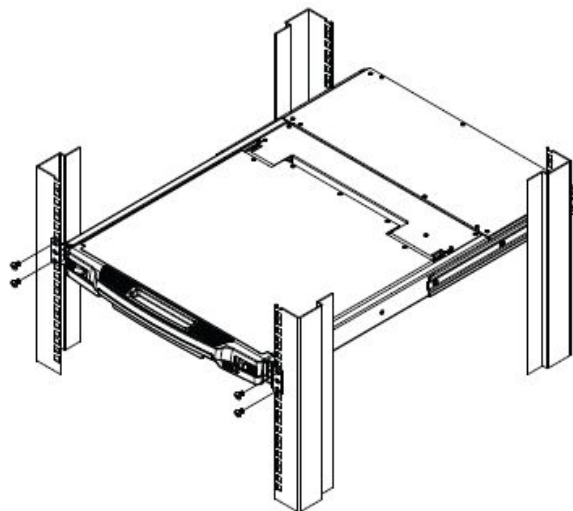
CL3000 には標準ラックマウントキットが同梱されています。この標準ラックマウントキットを使用して製品本体の取付ができるラックの奥行きは 42~72cm です。



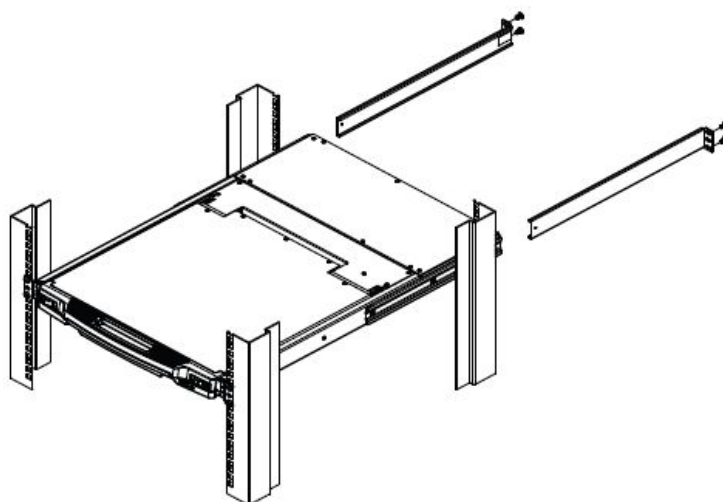
- 注意:**
1. 製品のラックへの取付作業は本製品を保持する作業者とネジ止めする作業者と  
いうように 2 人以上で行うようにしてください。
  2. 標準ラックマウントキットにはネジやケージナットは同梱されていません。追加で  
ネジやケージナットが必要な場合は、ラック販売店にお問い合わせください。
  3. オプションのイージーセットアップラックマウントキットが製品に同梱されていま  
す。イージーセットアップラックマウントキットの取付方法は p.20 をご参照くださ  
い。

ラックへの取付は以下の手順で行ってください。

1. 1人がCL3000をラックの定位置まで持ち上げて保持し、もう1人がラックにフロントブラケットをゆるくネジ止めしてください。



2. 最初の作業員がCL3000を定位置に保持したまま、もう1人の作業員はL型レールを本製品のリア側からブラケットがラックに接触するまで差し込んでください。その後、ラックにL型レールをネジ止めしてください。



3. L型レールが固定されたらフロントブラケットのネジもしっかりとネジ止めしてください。

---

**注意:** 適切なエアフローを確保するために製品の両側に少なくとも 5cm 程度、ケーブル取り回しのスペースを確保するために製品リア側に少なくとも 13cm 程度の余裕を設けて設置してください。

---

## イーजीセットアップラックマウントキット

イーजीセットアップラックマウントキットは、標準キットに比べて非常に簡単に製品のマウント作業ができるように設計されたものです。対応ラックの仕様は下記をご参照ください。

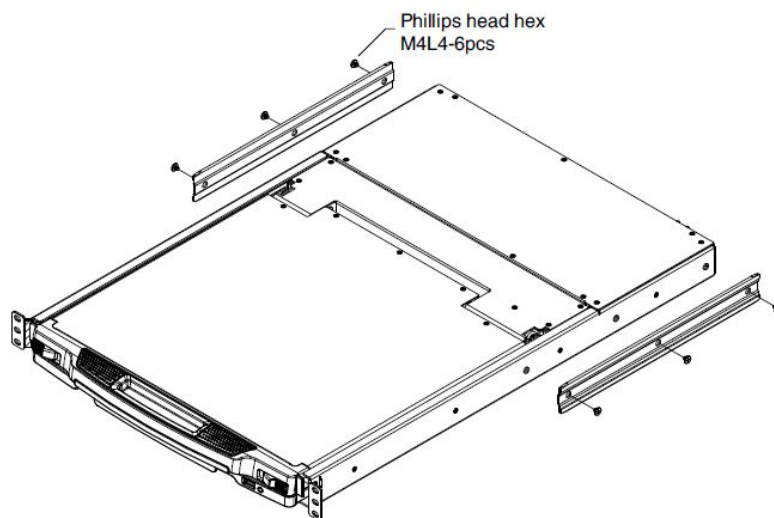
モデル		対応ラック奥行き (取付支柱間の距離)	型番
19 インチ LCD モデル	CL3000	ショート(42cm~70cm)	CL3000NJJS
		ロング(68cm~105cm)	CL3000NJL

**注意:** ラックマウントキットの対応奥行き表示は、ラック取付支柱間の距離を表しています。実際のラックマウント作業の際には、ラック内寸に対するドロワー本体の奥行きやケーブル取り回しを考慮する必要がありますのでご注意ください。

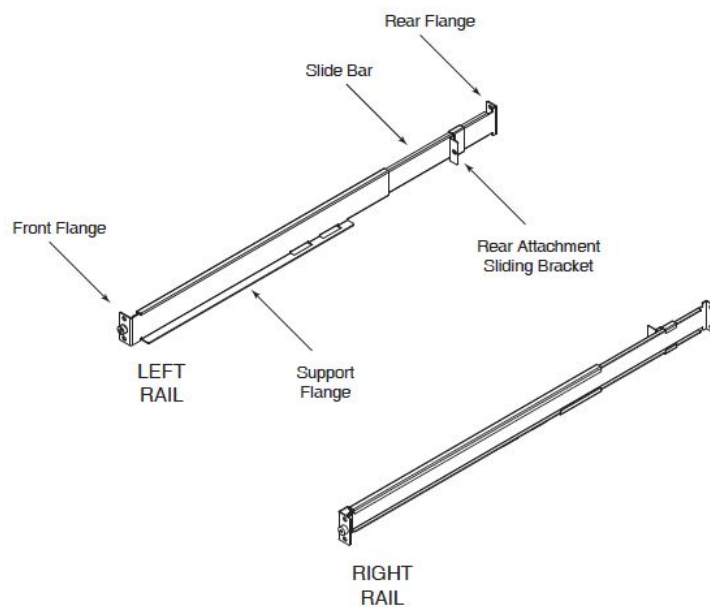
ロングレールキットの標準ラックマウントキットを取り付けるには、同梱のショートレールをロングレールに交換し、p.18「標準ラックマウント」作業手順に沿って CL3000 を取り付けるだけです。

標準的なラックマウントは二人で作業を行うのに対し、イーजीセットアップラックマウントキットの場合は、一人で CL3000 をラック取り付けることが可能です。イーजीセットアップラックマウントキットを使用してのマウント作業は下記の手順に従ってください(ショート/ロング共通)。

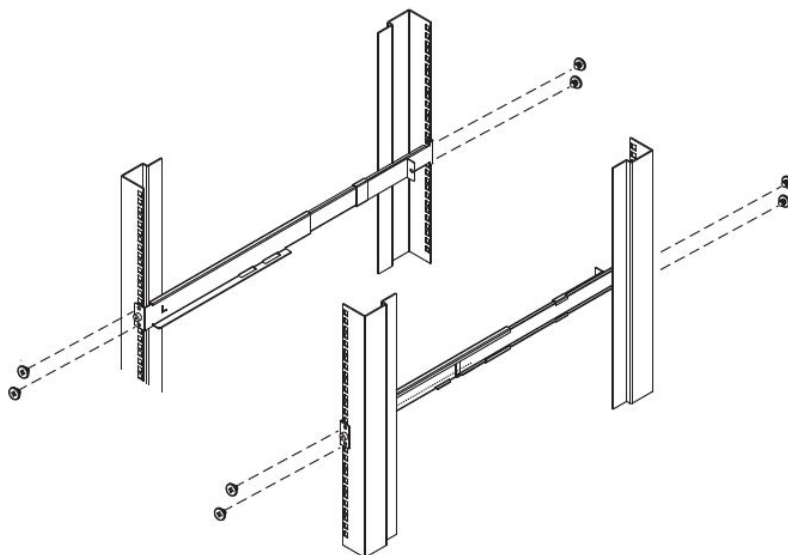
1. CL3000 の両側から標準 L 型レール(図では表示されていません)とサイドマウントレールを外してください。



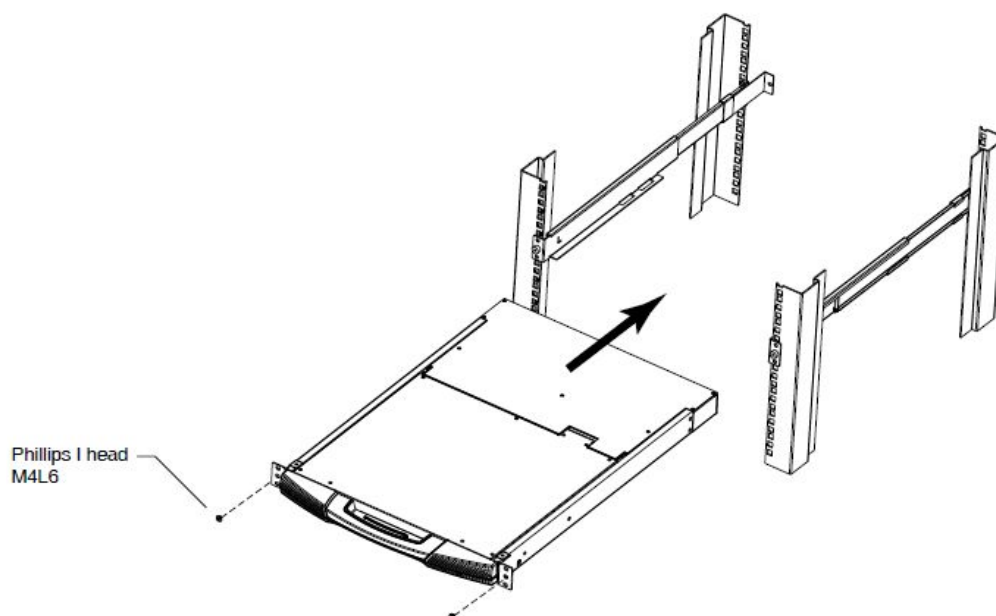
2. ラックの内側に左右のイージーラックマウントキットのレールを取り付けてください。CL3000 を支えるフランジが中に入っています。ラックとレールを取り付けるビスやケージナットは本製品に同梱しておりませんので、別途ラックメーカーよりご購入ください。



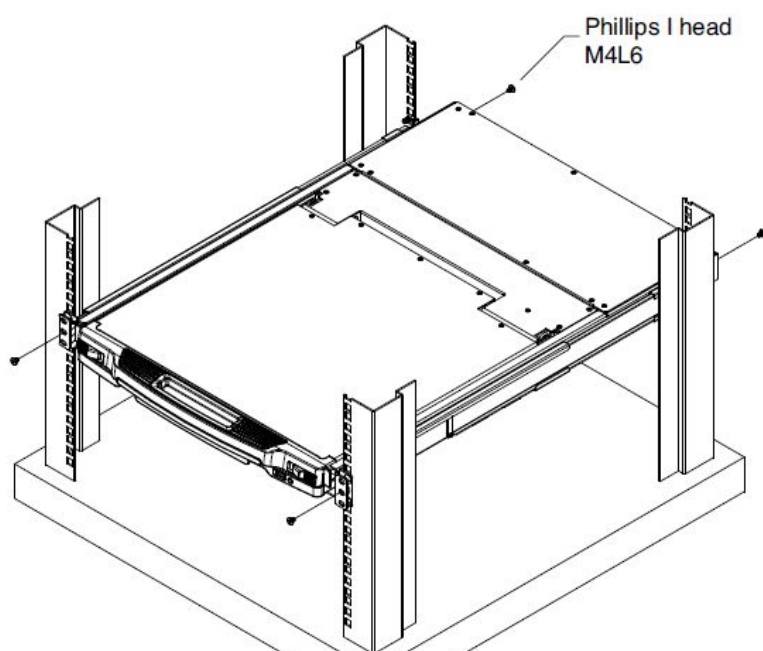
- a) まず、フロントフランジをラックにネジ止めしてください。  
b) レールのスライドバーをリアフランジがラックに接触するまでスライドさせた後、リアフランジをラックにネジ止めしてください。



3. サポートフランジの上に CL3000 をスライドさせてください。本製品に同梱されているネジを使用して本製品のフロントパネルとラックのフロント部分を軽くネジ止めしてください。



4. リアアタッチメントスライディングブラケットをスライドバーが CL3000 のリア部分に接触するまでスライドさせた後、本製品に同梱されているネジを使用してスライドバーを本製品のリア部分にしっかりと最後までネジ止めしてください。



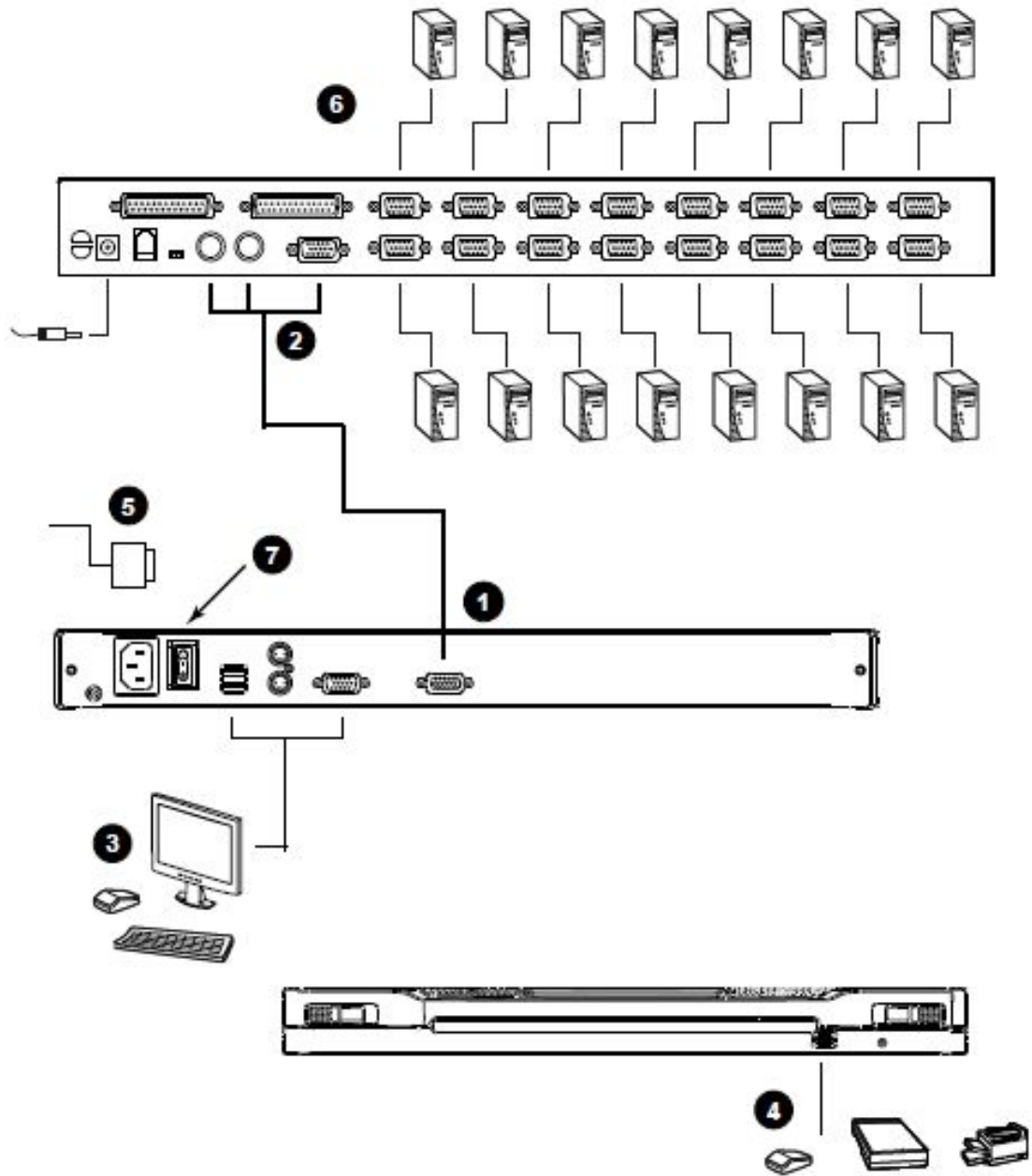
5. CL3000 を何回かスライドさせて出したり入れたりして、本製品が正しい位置に設置され、スムーズに出し入れできることを確認してください(出し入れ方法については、p.26「コンソールを開く」を参照)。
6. CL3000 が正しい位置に設置され、操作も正しく行えることが確定したら、手順 3 で軽くネジ止めしたフロント部分のネジを全てしっかりとネジ止めしてください。

## セットアップ

---

次ページの接続図を参照しながらセットアップ手順に従ってください。図中の番号は手順番号に対応しています。

1. 本製品に同梱されている KVM ケーブルの SPHD コネクタを CL3000 の KVM ポートに接続してください。
2. KVM ケーブルのキーボード、モニターおよびマウスコネクタを KVM スイッチのコンソールセクションにある対応するポートへそれぞれ接続してください。
3. セカンドコンソールのキーボード、モニターおよびマウスを CL3000 のリアパネルにあるコンソールセクションの対応するポートにそれぞれ接続してください。
4. 外付け USB マウス、または USB 周辺機器を使用する場合は、CL3000 のフロントパネルにある USB ポートにそれを接続してください。
5. 電源コードを CL3000 の電源ソケットに接続してから AC 電源に接続してください。
6. セットアップされた KVM 機器の電源を入れてください。
7. CL3000 の電源を入れてください。

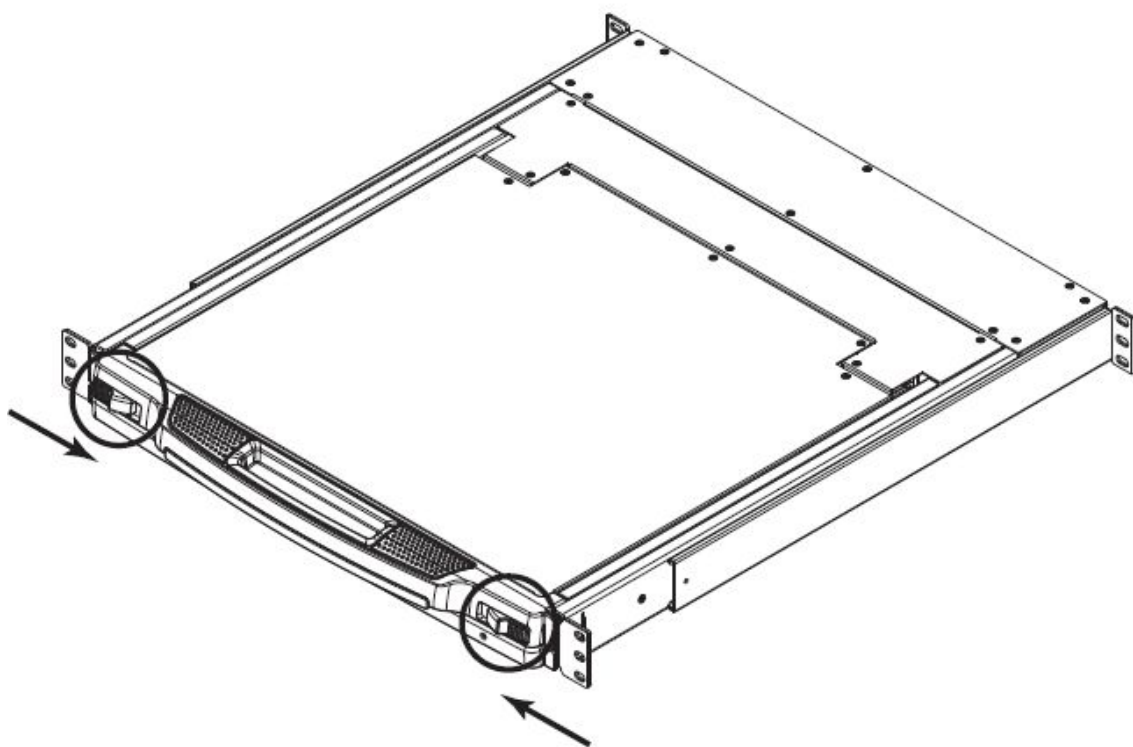


## 第3章 基本操作

### コンソールを開く

CL3000 コンソールは、上部パネルに取り付けられています。コンソールを使用するには、コンソールモジュールを引き出してから、上部パネルを開けてください。

**注意：** コンソールが誤って外に滑り出さないようにするために、安全措置として、コンソールは「In」の位置でロックされます。コンソールモジュールを引き出す前に、下図のように本製品のフロントパネルにある留め金を押して、ロックを解除しなければなりません。

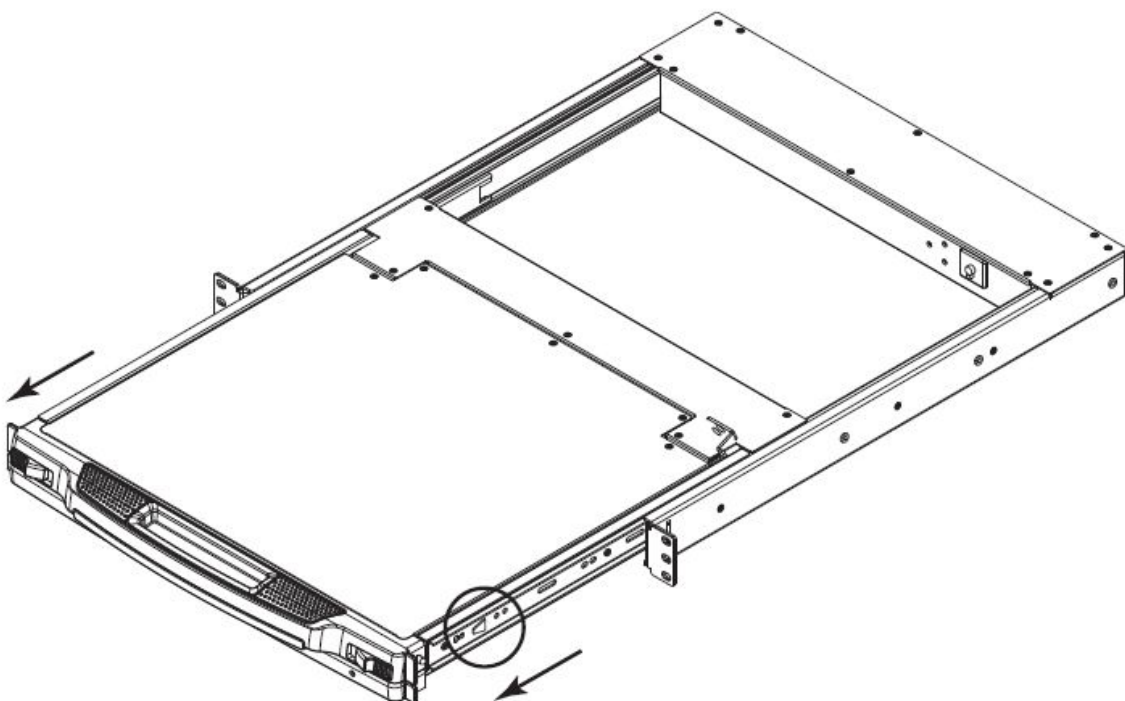


## コンソールを閉じる

---

コンソールモジュールをスライドさせて収納するには、上部パネルを閉じてから、以下の手順に従ってください。

1. 本製品の両側のレールにあるセーフティキャッチを手前に引き、モジュールを奥へ動かなくなるまで押してください。
2. キャッチから手を離してください。モジュールを少しだけ手前に引き戻してから、完全にラックに格納されるまで本製品を押してください。



---

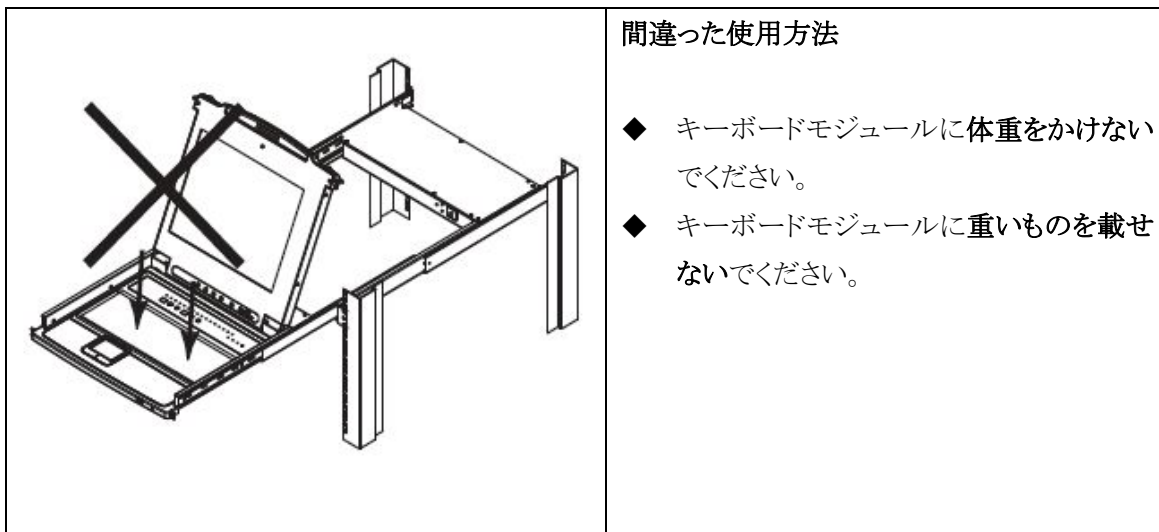
**注意:** 手順を2つに分けたのは、モジュールをスライドさせて格納する際に指を挟む可能性を最小限にするためです。

---

## 操作上の注意事項



キーボードモジュールの最大積載重量は 30kg です。キーボードモジュールが破損するのを防ぐためにも下記のことを守ってください。



## LED バックライト LCD OSD 設定

### LED バックライト LCD ボタン

OSD を使用して LED バックライト LCD ディスプレイのセットアップや設定を行うことができます。設定には下表で示した 4 つのボタンが使用されます。

ボタン	機能
MENU	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ LED バックライト LCD OSD メニュー機能を使用していない時にこのボタンを押すと、OSD メニュー機能を起動し、メインメニューが表示されます。</li><li>◆ LED バックライト LCD OSD メニュー機能を使用している時にこのボタンを押すと、ナビゲーションボタンで設定オプションを起動し、このボタンを押すと調整画面が表示されます。</li></ul>
	メニューを操作する際に、このボタンを押すと右、または上に移動します。調節を行う際に、このボタンを押すと値を増やすことができます。
	メニューを操作する際に、このボタンを押すと左、または下に移動します。調節を行う際に、このボタンを押すと値を減らすことができます。
EXIT	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ LED バックライト LCD OSD メニュー機能を使用していない時にこのボタンを押すと、自動調整を実行します。自動調整では、LED バックライト LCD パネルを OSD 側で最適な設定値を自動検出し、設定を行います。</li><li>◆ LED バックライト LCD OSD メニュー機能を使用している時にこのボタンを押すと、現在のメニューを中止し、一つ前にメニューに戻ります。設定が済んだら、このボタンを押して調整メニューを終了してください。</li><li>◆ メインメニュー機能使用時にこのボタンを押すと、LED バックライト LCD OSD メニューを終了します。</li></ul>

## 調整設定

LED バックライト LCD OSD メニューの調整設定の詳細は下表の通りです。

設定	説明
Brightness (明るさ)	スクリーンイメージのバックグラウンドの黒色レベルを調整します。
Contrast (コントラスト)	スクリーンイメージのフォアグラウンドの白色レベルを調整します。
Phase (フェーズ)	ピクセルジッターまたは水平線のノイズが画面に見える場合、ご使用の LED バックライト LCD のフェーズ設定が正しくない可能性があります。この問題を解決するにはフェーズ設定を調整してください。
Clock (クロック)	画面縦方向の波が見える場合、ご使用の LED バックライト LCD のクロック設定が正しくない可能性があります。この問題を解決するにはクロック設定を調整してください。
H-Position (水平位置)	LED バックライト LCD パネルの表示範囲の横方向の位置を設定します(表示範囲を左右に移動します)。
V-Position (垂直位置)	LED バックライト LCD パネルの表示範囲の縦方向の位置を合わせます(表示範囲を上下に移動します)。
Color Temperature (色温度)	ディスプレイの色の品質を調整します。赤みの度合いやカラーバランスが調整できます。「Adjust Color」メニューを選択すると、サブメニューで更に RGB 値を最適な状態に調節することができます。
Language (言語)	OSD メニューに表示される言語を選択します。
OSD Duration (OSD 持続時間)	画面に OSD が表示される時間を設定することができます。時間を入力していない場合、OSD 画面は終了します。
Reset (リセット)	メニューおよびサブメニューで設定した値全てを工場出荷時のデフォルト値にリセットします。 <b>注意:</b> 言語はデフォルト値に戻らず、設定した言語のままです。

## ホットプラグ

---

CL3000 はホットプラグに対応しているので、本製品の電源を落とすことなく、ケーブルを抜いたり接続したりするだけで、機器を取り外したり追加したりすることができます。

## シャットダウンと再起動

---

CL3000 をシャットダウンする(例:ファームウェアのアップグレード時)必要がある場合、リアパネルにある電源スイッチを使用して、本製品の電源を切ってください。CL3000 を再起動するには、本製品のリアパネルにある電源スイッチを押して電源を入れてください。

## ポート ID の割り当て、およびポートの選択

---

ポート ID の割り当て、およびポートの選択方法については、CL3000 に接続された KVM スイッチで使用されている方法に従ってください。詳細は、KVM スイッチのユーザーマニュアルを参照してください。

## ホットキー

下表に示したホットキーで CL3000 のコンソール選択を行うことができます。

ホットキー	説明
[Ctrl] [Alt] [Shift] [P] [C] [Enter]	キーボードエミュレーションをノーマルモード (Windows など) に設定します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [M] [A] [C] [Enter]	キーボードエミュレーションを MAC に設定します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [S] [U] [N] [Enter]	キーボードエミュレーションを SUN に設定します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [u] [p] [g] [r] [a] [d] [e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します (p.34 参照)。 <b>注意:</b> このホットキーはファームウェアアップグレードリカバリースイッチ (p.16 参照) が「Normal」の位置にある場合にのみ動作します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [L] [Enter]	ローカル (LED バックライト LCD) コンソールを有効にし、リモート (セカンド) コンソールを無効にします。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [R] [Enter]	リモート (セカンド) コンソールを有効にし、ローカル (LED バックライト LCD) コンソールを無効にします。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [L] [R] [Enter] または [Ctrl] [Alt] [Shift] [R] [L] [Enter]	両方のコンソールを有効にします (デフォルト値)。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [U] [M] [Enter]	フロント USB ポートをマウスモードに設定します。
[Ctrl] [Alt] [Shift] [U] [P] [Enter]	フロント USB ポートを周辺機器モードに設定します。

- 注意:**
1. キーは、まず [Ctrl]、次に [Alt]、次に [Shift] というように、1 度に 1 文字ずつ順番に入力してください。
  2. コンソールの選択は保存されません。CL3000 の電源を切ると、次に電源を入れた時に両方のコンソールが有効となるデフォルト値に戻ります。
  3. CL3000 に接続された KVM スイッチが [Ctrl] [Alt] [Shift] というキーを使用してホットキーモードを起動させる場合、CL3000 はそのホットキーをまずコンソールの選択用のホットキーと捉えるため、KVM スイッチへのホットキー操作はできません。

# 第4章

## ファームウェアアップグレードユーティリティ

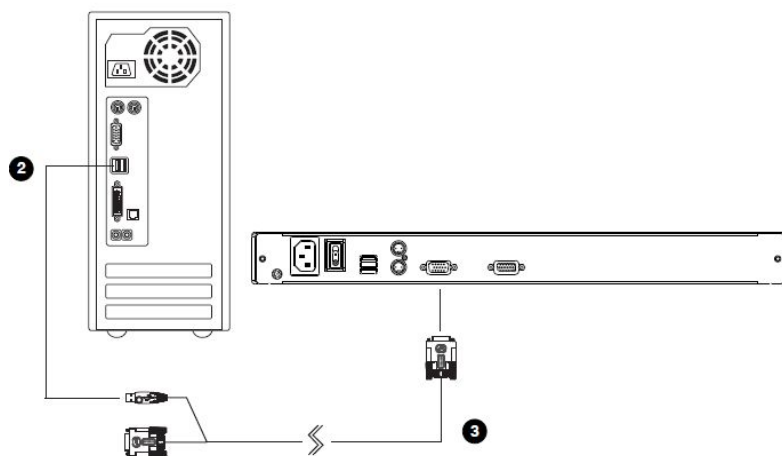
### はじめに

Window ベースのファームウェアアップグレードユーティリティを使用して CL3000 のファームウェアを自動的にアップグレードさせることができます。最新ファームウェアは弊社の Web サイト (<http://www.atenjapan.jp>) にファームウェアアップグレードパッケージとして公開されています。弊社 Web サイトにて、最新のファームウェアや関連情報を定期的にご確認ください。

### 作業を始める前に

アップグレードを始める前に、以下の作業を行ってください。

1. KVM スイッチに接続されていないコンピューターから ATEN の Web サイトにアクセスし、お使いのデバイス (CL3000) の型番を選択してください。インストールしたいファームウェアアップグレードパッケージ (通常は最新版) を選択し、このパッケージをお使いのコンピューターにダウンロードしてください。
2. KVM ケーブルの USB タイプ A コネクタをコンピューターの USB ポートに接続してください。
3. その KVM ケーブルの反対側にある SPHD コネクタを CL3000 の KVM ポートに接続してください。



## ファームウェアアップグレードモード

CL3000 のファームウェアアップグレードモードへはホットキーを入力する (p.32「ホットキー」参照)、または CL3000 をファームウェアアップグレードリカバリーモードに設定する (p.38「ファームウェアアップグレードリカバリー」参照)、という 2 通りのアクセス方法があります。

---

**注意:** ホットキーを使用してファームウェアアップグレードモードを起動するには、ファームウェアアップグレードスイッチ (p.16 参照) が「Normal」の位置になければなりません。

---

1. CL3000 のコンソールの後側にある電源スイッチを使用して、CL3000 の電源を切ってください。
2. ファームウェアアップグレードスイッチを「NORMAL」の位置にスライドしてください (p.16 参照)。
3. CL3000 のコンソールの後側にある電源スイッチを使用して、CL3000 の電源を入れてください。

CL3000 がファームウェアアップグレードモード中にある場合、[Num Lock]、[Caps Lock]、および [Scroll Lock] の LED が点滅します。

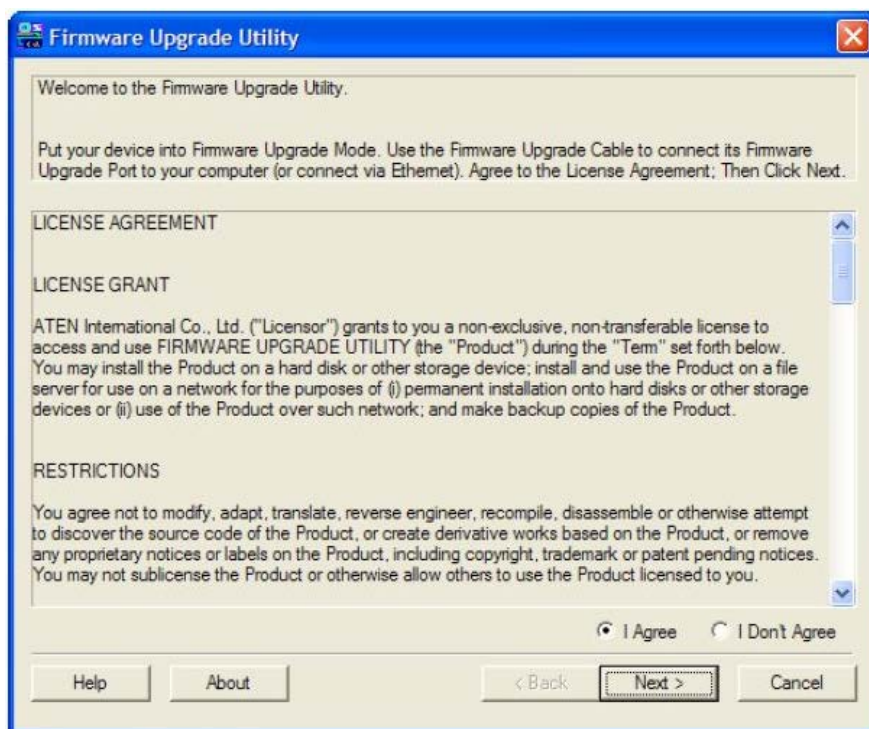
ファームウェアアップグレードモードを終了するには、p.38「ファームウェアアップグレードモードの終了」を参照してください。

## アップグレードの開始

---

ファームウェアをアップグレードするには以下の手順に従ってください。

1. アイコンをダブルクリックするか、フルパスをコマンドラインに指定するかして、ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージを実行してください。  
「Firmware Upgrade Utility」の初期画面が表示されます。



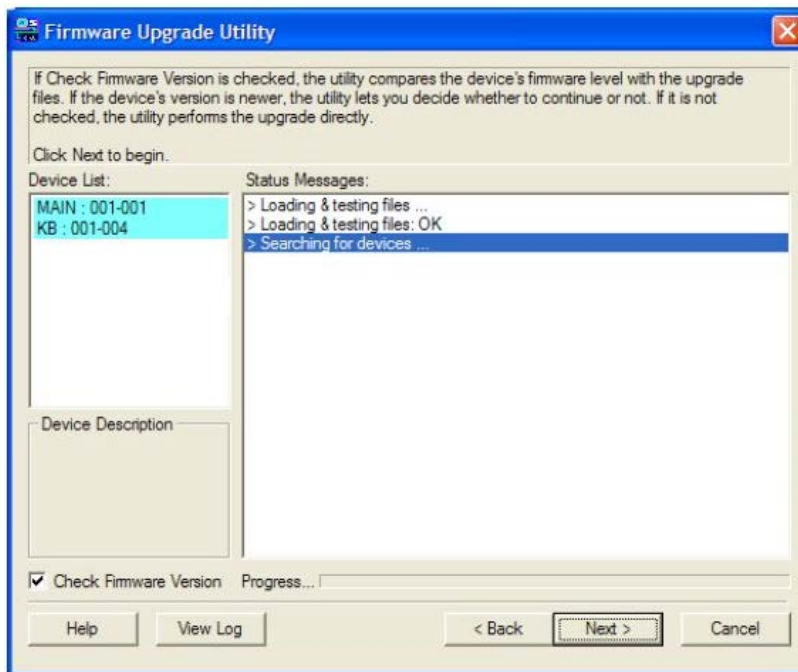
---

**注意:** この図は参照用です。ファームウェアアップグレードユーティリティで表示される実際の画面の言葉やレイアウトはこの例と多少異なることがあります。

---

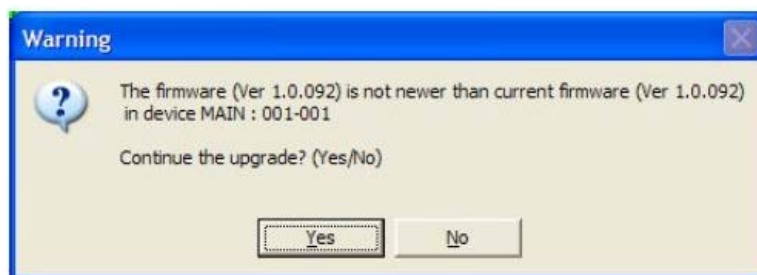
2. ライセンス使用許諾契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。
3. 「Next」ボタンをクリックしてください。

ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。「Device List」パネルにアップグレード可能なデバイスが表示されます。



4. 「Next」をクリックしてアップグレードを実行してください。

「Check Firmware Version」を有効にするとユーティリティはデバイスのファームウェアのバージョンとファームウェアアップグレードファイルのバージョンとを比較します。デバイスのファームウェアのバージョンがアップグレードファイルのバージョンよりも新しければ、ダイアログボックスにその旨が表示されるので、このままアップグレードを続けるか、キャンセルするかを選択してください。

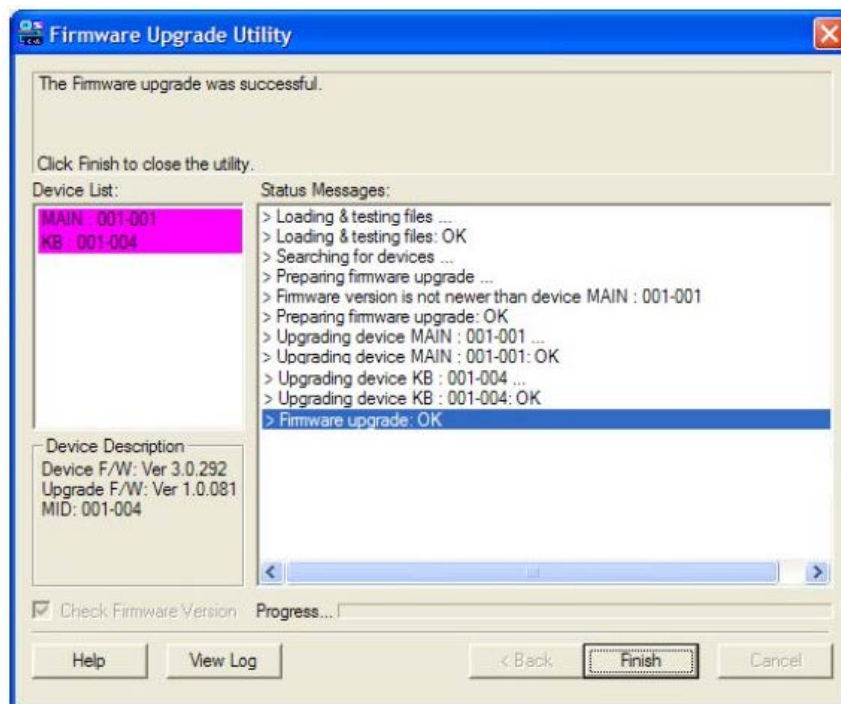


「Check Firmware Version」を有効にしなかった場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアとアップグレードファイルのバージョンを比較せずにそのままインストールされます。アップグレードの進行具合は「Status Message Panel」に表示され、またプログレスバーに進捗状況が表示されます。

## アップグレードの成功

---

アップグレードが完了すると、以下の画面が表示され、アップグレードが成功したことを表します。



「Finish」をクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

## アップグレードの失敗

---

「Upgrade Succeeded」(アップグレードの成功)の画面が表示されない場合は、アップグレードに失敗したことを表します。操作を続けるには、次項の「ファームウェアアップグレードリカバリー」を参照してください。

## ファームウェアアップグレードリカバリー

下記 3 つの条件の際に、ファームウェアアップグレードリカバリーを行う必要があります。

- ◆ 本製品のファームウェアが不明な理由により中断され、操作できなくなった場合。
- ◆ ファームウェアアップグレード中に割り込みが入った場合。
- ◆ ファームウェアアップグレードの進行が失敗した場合。

ファームウェアアップグレードリカバリーを行うには、下記の手順に従ってください。

1. CL3000 の電源を切ってください。
2. ファームウェアアップグレードリカバリースイッチを「**Recover**」の位置にスライドしてください。
3. CL3000 に電源を入れ、アップグレード手順を繰り返してください。
4. 本製品のアップグレードに成功したら、電源を切り、ファームウェアアップグレードリカバリースイッチを元の「**Normal**」の位置に戻してください。
5. CL3000 の電源を入れてください。

## ファームウェアアップグレードモードの終了

ファームウェアアップグレードモードを終了するには、下記の手順に従ってください。

1. ファームウェアアップグレードスイッチ (p.16 参照) を「**Normal**」の位置にスライドしてください。
2. p.31「シャットダウンと再起動」に記載された手順に従って、CL3000 をシャットダウンしてから、再起動してください。

# 付録

## 製品仕様

機能		CL3000
コンピューター接続数	ダイレクト接続	1
	最大	(接続する KVM スイッチに依存)
セカンドコンソール		1
コンピューター側 対応インターフェース	キーボード	PS/2、USB
	マウス	
セカンドコンソール側 対応インターフェース	キーボード	PS/2、USB
	マウス	
ポート選択方法		(接続する KVM スイッチに依存)
コンソール選択方法		ホットキー
コンピューター側 コネクタ	キーボード	SPHD メス(イエロー)×1
	マウス	
	モニター	
セカンドコンソール側 コネクタ	キーボード	ミニ DIN6 ピンメス×1 USB タイプ A メス×1
	マウス	ミニ DIN6 ピンメス×1 USB タイプ A メス×1
	モニター	D-sub15 ピンメス×1
スイッチ	リセット	ピンホール型スイッチ×1
	電源	ロッカースイッチ×1
	ファームウェア アップグレード	スライドスイッチ×1
	LED バックライト LCD 電源	プッシュボタン×1
	LED バックライト LCD 調節	プッシュボタン×4
USB ポート		USB タイプ A メス×1
電源ソケット		3 極 AC 電源ソケット×1

(表は次ページへと続きます。)

機能		CL3000
LED	電源	グリーン×1
	Num Lock	グリーン×1
	Caps Lock	グリーン×1
	Scroll Lock	グリーン×1
キーボード・マウスエミュレーション		PS/2、USB
電源仕様		AC100～240V、50Hz/60Hz
消費電力		21.4W
解像度		最大 1,280×1,024@75Hz、DDC2B 準拠
動作環境	動作温度	0～40℃
	保管温度	-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース材料		メタル
重量		8.5kg
サイズ(W×D×H)		485×585×44mm
同梱品		2L-5302UP(1.8m)ケーブル×1 電源ケーブル×1 クイックスタートガイド×1 イージーセットアップラックマウントキット (ショート or ロング)×1









(表は次ページへと続きます。)

機能	CL3000
対応 KVM ケーブル	《PS/2 KVM ケーブル》
	2L-5201P(1.2m)
	2L-5202P(1.8m)
	2L-5702P(1.8m)
	2L-5203P(3m)
	2L-5206P(6m)
	2L-5210P(10m)
	《USB KVM ケーブル》
	2L-5201U(1.2m)
	2L-5202U(1.8m)
	2L-5203U(3m)
	2L-5205U(5m)
《PS/2・USB KVM ケーブル》	
2L-5301UP(1.2m)	
2L-5302UP(1.8m)	
2L-5303UP(3m)	

\*注意:標準で PS/2・USB ケーブル (2L-5302UP)×1 が付属しています。

## Mac キーボードエミュレーション



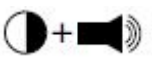




キーマッピングのエミュレーション機能により、PC 互換(101/104 キー)キーボードは Mac キーボードのファンクションキーを使用することができます。エミュレーションマッピングは下表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

**注意:** 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

## Sun キーボードエミュレーション

[Ctrl]キーとほかのキーを組み合わせて入力することで、PC 互換(101/104 キー)キーボードからキーマッピングのエミュレーション機能を利用して Sun のキーボードのファンクションキーを使用することができます。該当する機能については下表をご参照ください。

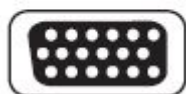
PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

**注意:** 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

## トラブルシューティング

問題	解決方法
キーボードから入力したいいくつかの文字が正しく表示されない。	ポートのキーボードレイアウト設定がご使用のキーボードと合っていません。スイッチでポートのキーボードレイアウトをご使用のキーボードレイアウトに合うように変更してください。
Sun コンピューターを操作するのに、Sun の外部キーボードの特殊キーが使用できない。	Sun キーボード機能を得るには、Sun キーボードエミュレーション機能 (p.43 参照) を使用してください。

## SPHD コネクタについて



本製品は、KVM 及び/またはコンソールポートに SPHD コネクタを使用しています。本製品と動作するように設計された KVM ケーブルのみが接続できるように、コネクタの形状を特別に修正しています。